

日本地球惑星科学連合大会における気象学会主催セッションの提案募集 および気象学会によるセッションの共催について

講演企画委員会

日本気象学会では、2010年度より日本地球惑星科学連合大会（連合大会と略す）において下記のような方針で、主催セッションを毎年提案することとしております。つきましては、2021年度の連合大会での開催に向け、会員の皆様の提案を募集いたします。

また、気象学会を共催団体とするセッション等（学協会セッション）を予定されている場合には、気象学会としても共催セッションとして積極的に支援したいと考えています。気象学会共催をご希望の場合にも、提案書（セッション名・内容説明・提案母体・予定コンピーナー）を講演企画委員会まで下記要項によりご提出ください。共催セッションの数に制限は設けておりませんので、数多くのセッションを気象学会共催したいと思います。積極的にご提案ください。

気象学会主催セッション提案要項

- ・セッション名を「最新の気象科学」とし、サブテーマとしてその年のテーマ（気象科学分野の特定の分野）をつける。サブテーマとコンピーナーは毎年公募する。
- ・セッションには招待講演を設けて最先端の気象科学の成果を他分野に紹介するとともに、気象学会員と非会員の双方からの一般講演を募集し、日本惑星科学連合における気象科学および関連諸分野の学術交流と研究発表の場とする。
- ・応募が複数あった場合等については、講演企画委員会および理事会の議論を経てどのように行うかを決定する。
- ・サブテーマおよびコンピーナーの決定後はその運営をコンピーナーにゆだねる。学会は必要に応じてその宣伝等の広報活動を行う。

今後のスケジュールの概略

- 2020年9月25日（金）：主催・共催セッション募集の締め切り
- 2020年10月：講演企画委員会、理事会での承認、連合へのセッション提案
- 2020年11月：連合によるセッションの採択の決定
- 2021年1月～2月：連合ホームページにて講演募集

2021年3月：プログラムの決定

2021年5月30日（日）～6月3日（木）連合大会（会場：パシフィコ横浜ノース）

なお、大会終了後、コンピーナーの方には800字程度でセッションの報告を執筆していただき、「天気」にすみやかに記事を投稿して下さるようお願いいたします。

サブテーマとコンピーナーの募集要項

以下の事項を明記して郵便もしくはE-mailでお申し込み下さい。

- (1)サブテーマ名
- (2)サブテーマの趣旨説明（400字程度）
- (3)コンピーナー（1～3名）の氏名・所属および代表者の連絡先（電話・FaxおよびE-mail）

採択された場合、上記を「天気」11月号に掲載します。要望があれば電話・Fax番号、E-mailアドレスも掲載します。

申込先

〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
気象研究所 台風・災害気象研究部内
日本気象学会講演企画委員会事務局
E-mail：jpgu-met@metsoc.jp

申込期限*

2020年9月25日（金）必着

（セッション共催についても、できるだけ上記締め切りまでにお知らせください。締め切り後に決まったセッション共催提案に関しても、随時連絡いただければ可能な範囲で対応いたします。）

※連合大会側のセッション提案募集スケジュールに応じて変更する可能性があります。

これまでの開催歴

- 2010年度：「北極圏の気候変動」（セッション A-AS002）
- 2011年度：「大気・海洋・地球環境における乱流の数値解析」（A-AS022）
- 2012年度：「中高緯度大気海洋相互作用と気候」（A-

AS03)

2013年度：「福島原発事故放射能の大気・陸圏輸送、沈着問題」(A-AS24)

2014年度：「航空機による大気科学・地球観測研究の展開」(U-04)

2015年度：「Satellite Earth Environment Observation (衛星による地球環境観測)」(A-CG09)

2016年度：「High performance computing of next generation weather, climate, and environmental

sciences using K」(A-AS02)

2017年度：「International Field Campaign - Years of the Maritime Continent (YMC)」(A-AS03)

2018年度：「台風研究の新展開～過去・現在・未来」(A-AS03)

2019年度：「ダスト」(M-IS09)

2020年度：「東アジアの異常天候・都市災害と気候変動との関わり」(A-AS02)

